

ユネスコ世界記憶遺産登録絵画作者の来訪について

平成27(2015)年10月10日にユネスコ世界記憶遺産に登録された舞鶴市所蔵の引き揚げ関係資料『舞鶴への生還 1945-1956 シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録』570点のうち、40点の抑留体験画の作者である木内信夫氏(千葉県柏市、96歳)が、令和2年10月10日(土)に舞鶴市を訪問し、ユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念 平和未来フォーラムに参加されることになりましたので、お知らせします。

記

1. 木内氏来訪日 令和2年10月10日(土)
2. 場所 舞鶴市総合文化会館
3. 木内信夫氏について
 - 大正12年(1923) 東京赤坂に生まれる。
 - 昭和13年(1938) 航空技能養成学校入学。
 - 昭和19年(1944) 航空技能養成学校卒業。
卒業後は満洲で飛行部隊に入隊。
 - 昭和20年(1945) 8月23日ソ連軍の捕虜となり、朝鮮の三合里に収容後ソ連領内を転々としたのちウクライナのスラビヤンスクへ収容される。
 - 昭和23年(1948) 7月恵山丸で舞鶴へ帰還。
 - 昭和24年(1949)頃 小糸製作所へ入社。その後、様々な職業を経験する。
 - 昭和60年(1985) 千葉県へ移る。

※90歳を過ぎてからも、千葉県柏市の地元紙に連載するかたわら、柏プラネタリウムの投影イラストの制作、学校での講演、各種講演会の開催など活動をされている。
4. 当日の日程(ご取材いただけます)
 - 12時40分頃 木内信夫氏 舞鶴市総合文化会館に来館。
 - 13時30分 ユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念「平和未来フォーラム」に参加
※14時頃、退席される予定です。

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

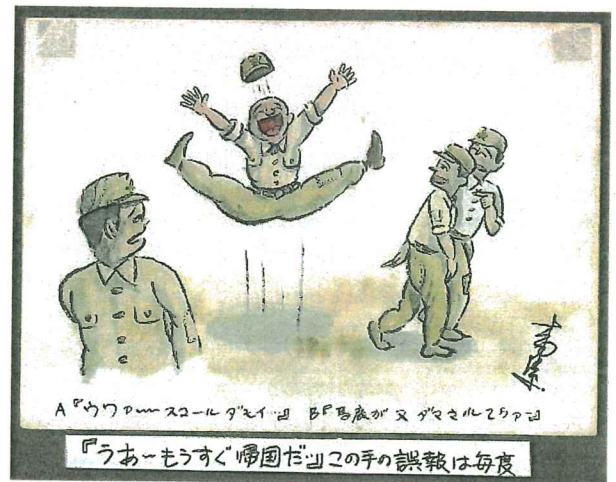
E-Mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp



5. 木内信夫氏作画のユネスコ世界記憶遺産登録資料について

○木内氏の絵画には、過酷な抑留生活だけでなく、ドイツ人の抑留者やロシア人との交流の様子が描かれています。昭和23年の帰国直後に作画されており、記憶が鮮明なうちに記録された絵画はあまり類がなく希少性の高い資料です。全40点

○現在、開催中の『舞鶴引揚記念館ユネスコ世界記憶遺産登録 5周年特別企画展「世界の記憶」』で、木内氏の作品を展示しています。



▲現在、展示中のユネスコ世界記憶遺産登録資料(木内氏作画)の一部